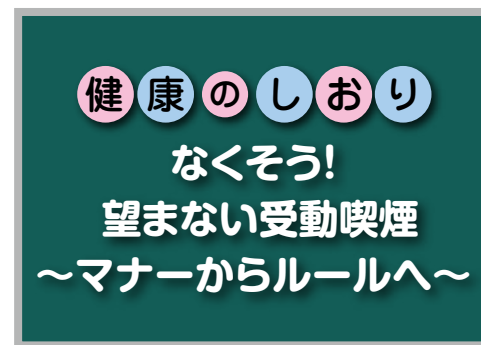




受動喫煙とは、「室内やその他の場所で他人のタバコの煙を吸わされること」をいいます。平成30年7月、健康増進法の一部を改正する法律が成立しました。このことで、望まない受動喫煙を防止するための取り組みは、**マナーからルールへ**と変わります。

改正された健康増進法は、**令和2年4月1日から**全面施行され、**多くの人が利用する全ての施設は、原則屋内禁煙となります。**



施設の種類の取り扱い

厚生労働省Webサイトより



病院・学校

行政機関の庁舎、学校、児童福祉施設、病院など

今年7月1日から「**敷地内禁煙**」です。

※ただし、屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置が取られた場所に限り喫煙場所を設置することが可能です。



多くの施設において
屋内が原則禁煙に

20歳未満の
立入禁止

20歳未満の方は
喫煙エリアへ立入禁止に

喫煙室の
設置が必要

屋内での喫煙には
喫煙室の設置が必要に

標識掲示が
義務付け

喫煙室には
標識掲示が義務付けに

タバコの煙には4000種類以上の有害物質が含まれ、呼吸器疾患の原因になるほか、肺がんや心疾患のリスクを高め、早産や乳幼児突然死症候群※（※主に1歳未満の、健康にみえた乳児が何の予兆もないまま突然死すること）などに影響します。

タバコの有害物質は、漂う煙（副流煙）に多く含まれているため、タバコを吸っている人の近くにいると健康を害する危険度が高くなります。タバコを吸った後は、体の表面（髪の毛や衣服）に有害物質が付着しているので換気扇の使用や窓を開けるといった防止対策をとっても十分とはいえません。さらに、空気清浄機はタバコの臭いをとることはできますが、有害な物質は粒子が小さく除去できないので、受動喫煙を防ぐことはできません。

屋外においても、路上での喫煙は他の通行者にとって、立派な受動喫煙です。歩きタバコは子どもの顔の高さと同じくらいに火種があり危険です。歩きタバコはやめましょう。



【お問い合わせ先】健康福祉課 ☎22-3115

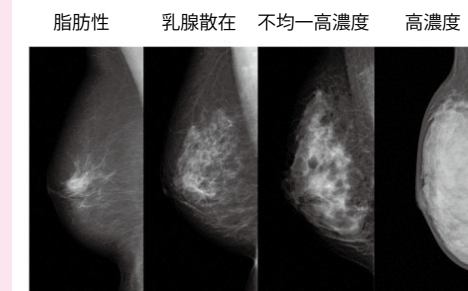
がん検診・特定健診・後期高齢者健診のお知らせ

下記の日程でがん検診、特定健診、後期高齢者健診を実施します。受診を希望される方は電話または申し込みハガキで役場までご連絡ください。実施日が近づきましたら、受診票などを個別に送付します。

月 日	事業名	場 所	時間（受付時間）
8月	22日(木)	結核・肺がん・胃がん・大腸がん検診 特定健診・後期高齢者健診	十和隣保館 ※結核・肺がんは巡回あり 8:30 ~ 9:30
		結核・肺がん検診 特定健診・後期高齢者健診	昭和地区基幹集落センター ※結核・肺がんは巡回あり 13:30 ~ 14:30
	23日(金)	結核・肺がん・胃がん・大腸がん検診 特定健診・後期高齢者健診	十和地域振興局 ※結核・肺がんは巡回あり 8:30 ~ 9:30
		結核・肺がん検診 特定健診・後期高齢者健診	井崎集会所 ※結核・肺がんは巡回あり 13:30 ~ 14:00
9月	4日(水)	結核・肺がん検診 【ひろい】	十和地域 巡回 9:00 ~ 11:50
	5日(木)	結核・肺がん・胃がん・大腸がん検診 特定健診・後期高齢者健診	四万十町役場 東庁舎 ※結核・肺がんは巡回あり 8:00 ~ 9:30
	6日(金)		
	12日(木)		
	13日(金)	結核・肺がん検診 【ひろい】	大正地域 巡回 9:00 ~ 11:00
	17日(火)		
	27日(金)		仁井田町民会館 ※結核・肺がんは巡回あり 8:00 ~ 9:30

※結核・肺がん検診は検診バスで各地へ巡回しています。巡回場所については、区長回覧および受診票などの個別通知にてお知らせいたします。

【お申し込み先】健康福祉課 ☎22-3115



マンモグラフィは、世界的にも信頼性が高い乳がんの検診法ですが、現在、乳がん検診のマンモグラフィに、超音波検査を組み合わせる施設が増えてきました。

それというのも、マンモグラフィでは乳がんが見つかりにくいタイプの乳房が日本女性に多いことがわかってきたからです。

マンモグラフィでがんが見つかりにくい乳房は、『デンスブレスト（高濃度乳房）』と呼ばれます。



からだに
いいはなし

デンスブレストの
おはなし2

れます。乳腺が密集しているため、マンモでは真っ白に映り、仮にしこりがあったとしても、同じく真っ白く映る乳腺に隠れて見えない場合があるのです。

脂肪が多く、乳腺密度が低い「脂肪性乳房」であれば、マンモでは乳房は黒く映ります。白く映るしこりがあれば、見つけやすいのです。

ところがデンスブレストでは、乳腺もがんも白く映るため、がんを見つけにくい……。まさに雪原で白いウサギを探すようなものだと言えます。

マンモグラフィ画像を医師・診療放射線技師が見る時、乳腺濃度によって「脂肪性」「乳腺散在」「不均一高濃度」「高濃度」の4段階に分けて診断します。高濃度乳房はこの写真のようになり、癌があれば分かります。

四万十町国保大正診療所
筒井崇・入吉宏紀・大川剛史